

ブーツドライヤー CBD-50-H

取扱説明書



- ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 漏電による感電防止の為アースコードは必ず接地してください。

株式会社シー・ケー・テクノ



I 製品保証規定

本機は、株式会社シー・ケー・テクノが責任をもって厳密なる品質管理を行いこれに合格したものです。従いましてお買い上げ後1年間又は5000時間以内の保証をします。万一保証期間中に故障が生じた場合は無償修正することを保証します。なお、保証期間内でも適用除外項目については有償とさせていただきます。

適用除外項目

- 1.ご利用にともないしだいに消耗、摩擦する部品(ゴム部分、フィルタ)
- 2.取扱不注意及び誤った使用管理に起因する故障
 - ①添付の説明書以外のご使用による場合
 - ②異常な環境条件に於ける取扱をされた場合
- 3.弊社または弊社販売店以外で行われた修理に起因する故障
※ご使用中、万一故障した場合は取扱店へお申し出ください。
※本機の保証は日本国内で使用する場合に限ります。

合格証印	品質管理部

この保証証は保証書となりますので大切に保管してください。

製造元 株式会社シー・ケー・テクノ
〒381-2225 長野県長野市篠ノ井岡田433-1
TEL:026-292-9811 FAX:026-293-9988
E-mail:ckt-t-o@c-k-techno.jp
<http://www.c-k-techno.jp>

Ⅱ 各部名称



本機種の機械室の内部には、ヒーターユニット/送風ファン/配電盤があります。
通電中は機械室上部のカバーを開き、決して手など触れないでください。大変危険です。

Ⅲ仕様

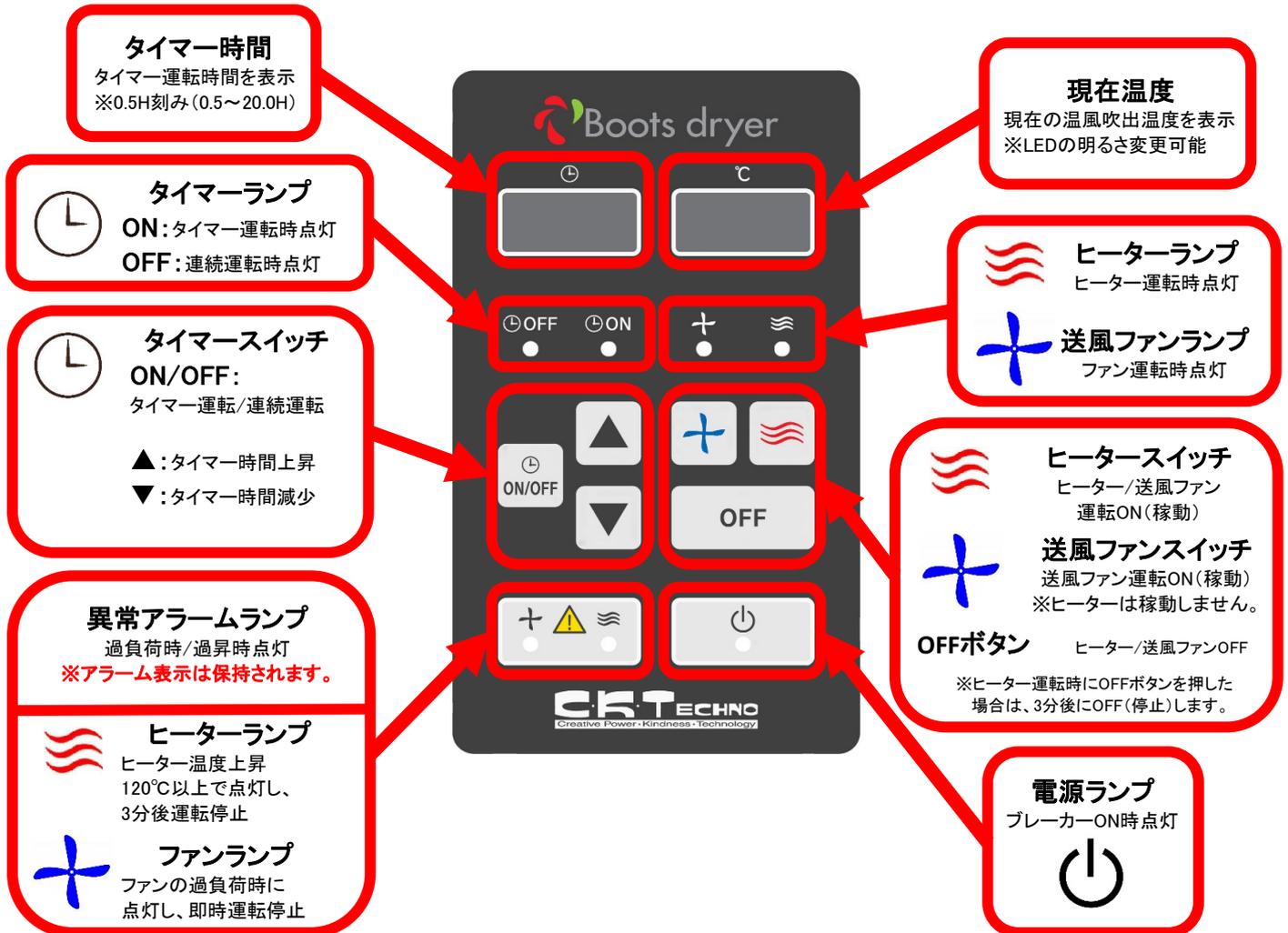
仕様表	
型式	CBD-50-H
本体寸法	W2060×D580×H1982.5 (2165) ※1
乾燥数	50足
重量	約295kg
設定温度範囲	10～55℃(出荷時設定温度48℃) ※2
使用周囲温度範囲	-5～30℃
運転	連続運転/タイマー運転(タイマー 最大20H)
風量(50Hz)	(8m ³ /min)×1台 (13m ³ /min)×1台
風量(60Hz)	(9.5m ³ /min)×1台 (15m ³ /min)×1台
ヒーター	7,200w/h
消費電力	7,860w
アラーム表示	ファン過負荷時/ヒーター過昇防止サーモ作動時
電源	3相200V
送風機	シロッコ型(0.25kw)×1台 (0.4kw)×1台
付属品	キャスター付

※1 本体寸法()は最長高さ

※2 周囲温度15℃以下では設定温度48℃まで到達しない場合があります。

! 送風筒表面温度は45～55℃になります。その場合被乾燥物の高温による変形、変色を引き起こす可能性があります。
送風筒に被乾燥物が直接触れないようご注意ください。

操作パネル/動作説明



※LEDデジタル照度は、1～9段階で1が一番暗く、9が明るい。出荷時設定では真ん中の5に設定されている。

IV 操作手順

1. 一次側電源接続

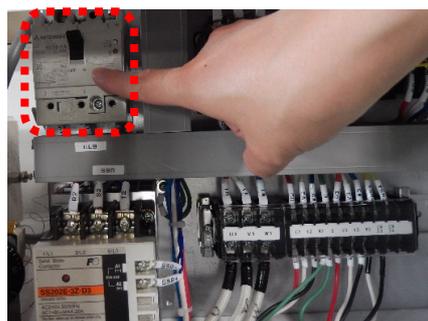
本製品の電源は3相200Vです。

付属の電源ケーブル(長さ5m/サイズ3.5mm²4芯 先端部丸端子R-3.5-5S付)をお客様のブレーカー(電気容量30A)に接続してください。

ブレーカーご用意及び接続は、電機工事専門業者に依頼し行ってください。

1) 基本動作

右画のように、操作盤のブレーカーをONにしてください。



逆相の場合は、電源ランプが点滅します。

スイッチを押しても操作することができませんので

1次側3相200Vの配線(赤・白・黒)のうち、2相を

入替えてください。



スイッチを押しても操作できません

正相(正常状態)の場合は、電源ランプが点灯します。

運転開始できます。



点灯

IV 操作手順

操作パネルの連続運転orタイマー運転スイッチを
選択し押してください。



ON＝タイマー運転
OFF＝連続運転(タイマーOFF)
▲＝タイマー時間UP
▼＝タイマー時間DOWN
※タイマー時間は0.5H(30分刻み)です。



送風ファンスイッチ＝送風運転



ヒータースイッチ＝温風運転



上画は、タイマー運転＋温風運転の状態

タイマー運転開始/停止

タイマー運転スイッチを押します。タイマーONランプが点灯したことを確認します。

(タイマーOFFランプが点灯している場合は連続運転です)

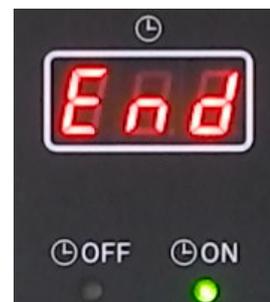
タイマー時間の設定方法は▲▼スイッチで行います。タイマー最大20時間まで設定でき、0.5時間(30分)刻みで設定できます。

タイマー運転選択後、送風運転or温風運転スイッチを選択し、押してください。選択したメニューで運転開始します。設定された時間経過後自動停止となります。

温風運転停止の場合にのみヒーター冷却をする為、OFFスイッチを押して3分間は冷却運転(送風運転)を行います。3分後停止します。

タイマー運転終了時は、操作パネルタイマー時間が右画のように **END** 表示されます。

送風運転停止の場合は即運転停止となり、3分間の冷却運転(送風運転)はしません。



タイマーOFF(連続)運転開始

タイマーOFF(連続)運転選択後、送風運転or温風運転スイッチを選択し、押してください。選択したメニューで運転開始します。

タイマーOFF(連続)運転時の操作パネル タイマー時間表示は- - -です。

タイマーOFF(連続)運転停止

タイマーOFF(連続)運転を停止する場合は、操作パネルのOFFスイッチを押してください。温風運転停止の場合にのみヒーター冷却をする為、OFFスイッチを押して3分間は冷却運転(送風運転)を行います。3分間後停止します。送風運転停止の場合は即運転停止となり、3分間の冷却運転(送風運転)はしません。

IV 操作手順

運転中でもタイマーOFF(連続)運転からタイマー運転へ変更したり、送風運転、温風運転に変更することができます。

※温風運転から送風運転に変更する場合には、いったん温風運転スイッチを押してください。温風→送風運転に切替され、送風運転になります。(温風運転ランプが消え、送風運転ランプが点灯されるのをご確認ください)



アラーム表示



こちらのマークのあるランプは送風ファンアラームとヒーター過昇アラームです。

送風ファンアラーム

本製品には、送風ファンを2台搭載しています。そのうち1台でも送風ファンの過負荷異常があると、送風ファンアラームが点灯し保護装置が働き運転が停止します。

送風ファン運転中発生した場合、アラーム表示し即運転停止します。

送風ファンアラームの点灯は保持されたままになります。

アラームをリセットする場合は、メインブレーカーの電源を切り、再度電源を入れてください。



ヒーター過昇アラーム

ヒーターユニット内部温度が規定以上の温度になり、120℃を超えると、過昇アラームランプが点灯し保護装置が働き運転が停止します。

アラーム表示から3分間冷却(送風)運転後停止します。

ヒーター過昇アラームの点灯は保持されたままになります。

アラームをリセットする場合は、メインブレーカーの電源を切り、再度電源を入れてください。



リセットしても、アラーム表示が消えない。または異常音や異常臭がするなどの場合は直ちに使用を停止し、弊社か販売店にお問い合わせください。

V 使用上の注意事項

- 1.使用周囲温度は、 -5°C ～ 30°C の範囲以内でご使用ください。
- 2.機械室カバーなどに水滴が付着した場合は、速やかに拭き取ってください。水滴が付着した状態でご使用を続けると、錆びの原因となります。また、操作パネルには水滴がかからないようにご注意ください。（電気部品を搭載しておりますので、故障の原因になります）
- 3.本製品は、スキー/スノーボード/工業用長靴専用のブーツ乾燥機です。これ以外の被乾燥体のご使用はできません。長時間の乾燥をされる場合は、ブーツの表面・内部の形状、物性変異をもたらす場合も考えられますのでご注意ください。



4.水平な場所に設置してください。傾いた場所に設置しますと、キャスターにより本機が動いたり、転倒する恐れがあり大変危険です。

VI メンテナンス及び保管方法

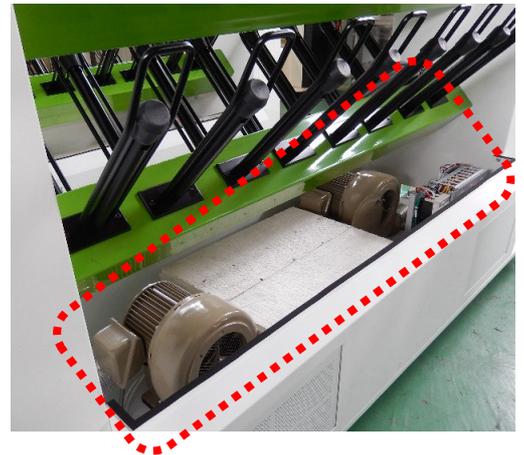
定期的にはこりを除去してください。



※ほこりを除去せず、そのまま運転を続けると乾燥能力が低下したり、思わぬ事故につながる可能性があります。

1) メンテナンス方法

上フタを取り外します。（フタを取る際は、塗装が剥げないように両側の白いダクトに気をつけながら取るようにしてください）



送風ファンの吸込口網にほこりが付着していると本来の性能を発揮できず、規定以上の過電流が生じる可能性もあり、送風ファンの保護装置（サーマルリレー）が働き、アラーム表示され運転停止することもあります。

掃除機やブラシなどで除去してください。



送風ファンは2台搭載しています。2台とも定期的にメンテナンスをしてください。

1) 保管方法

一次側電源（メインブレーカー）をOFFにしてください。

汚れ・水滴・ホコリを拭き取りビニールなどをかけ、室内の乾燥した場所で保管してください。

水滴除去のお願い

本製品は、スキー/スノーボード/工業用長靴専用のブーツ乾燥機であるため、雪や水分がブーツに付着した状態で使用することが前提にあります。機械室カバーはそうした水滴が入らないような構造にしておりますが、過剰にブーツが濡れているような場合にはこの限りではありません。機械室カバーや蓋に水滴がポタポタと落ちるときはタオルで水分を拭き取ったり、ビニールシートなどで機械室カバーを覆ったりするなどの対策を講じていただきますようお願いいたします。



雪など大量についた状態でそのまま引っ掛ける

水が相当量滴り落ちる



配電盤カバーに水溜りができ、両側面や前後に水が流れる。水の量にもよるが、場合によっては下記写真の配電盤部に水が侵食する可能性がある。

※機械室内部には、ヒーターユニットと送風ファン、配電盤が内蔵されております。



配電盤に水滴やかかると漏電したり、安全装置がかかり動かなくなるなどの不具合が発生します。また、そのままの状態ですと、電気がショートし最悪の場合火災が発生する可能性があります。

